

データ操作ステートメントで重要なSQLは、**SELECT** と **UPDATE** と **INSERT** です。これらで殆どのアプリケーションに必要な処理を実現できます。ただ、その中でもデータベースの中だけで完結しない SQL を知っておく事は**開発や運用で重要**になります。

MySQL では、**SELECT** を使用して**テキストファイル**にデータを**エクスポート**する事ができます。社員マスタの全ての列を C:/app/workspace/syain.932 へ出力する SQL を記述してください。

- ※ キャラクタセットは cp932
- ※ 列データの区切り文字は ,(カンマ)
- ※ 改行コードは \r\n
- ※ OPTIONALLY ENCLOSED BY '"' を使用する事

データをエクスポートするという事は、インポートを知っている必要があります。MySQL では上記処理で出力されたデータを **LOAD DATA INFILE** という SQL で実現します。(この SQL もデータ操作ステートメントです)

以下に、インポートする SQL を記述してください

社員マスタには、**主キー**が存在します。ですから、インポートする前にはデータを全て削除しておく必要がありますが、この場合はデータ操作ステートメントの 構文では無く、データ定義ステートメントの 構文を使用してください。前者はあくまで、**アプリケーション内での削除**に使われるもので、**運用には後者**を使用します。

バックアップ目的のエクスポートは、コマンドで行います。以下にコマンドプロンプトで行うエクスポートを記述してください。

- ※ localhost の lightbox データベース
- ※ ユーザは root で、パスワードは空文字
- ※ 出力ファイルは backup.sql

この内容は SQL となっていますので、インポートはSQL の実行を行うコマンドです。以下にその内容を記述してください